



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社ルネサンス 上場取引所 東
コード番号 2378 URL <https://www.s-renaissance.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 望月 美佐緒
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 安澤 嘉丞 (TEL) 03-5600-7811
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	48,187	1.3	890	△46.0	315	△72.6	523	△26.8
2025年3月期第3四半期	47,572	46.7	1,647	56.1	1,154	33.9	714	16.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 514百万円(△27.7%) 2025年3月期第3四半期 711百万円(-21.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	26.87	23.34
2025年3月期第3四半期	37.03	31.90

(注) 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	57,862	12,354	21.3
2025年3月期	55,435	12,118	21.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 12,342百万円 2025年3月期 12,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	3.00	—	9.00	12.00
2026年3月期	—	4.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				9.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご参照ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	66,000	3.6	1,700	△12.7	900	△26.5	500	△34.7
								25.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社 (社名) 株式会社楓の風 、除外 1社 (社名) 株式会社スポーツオアシス

2025年4月1日付で株式会社ルネサンスを存続会社、株式会社スポーツオアシスを消滅会社とする吸収合併を行っております。

また、2025年12月1日付で株式会社楓の風を連結子会社化しております。詳細につきましては、決算短信（添付資料）10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合等関係）」をご参照ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、決算短信（添付資料）10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	21,379,000株	2025年3月期	21,379,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	2,463,058株	2025年3月期	2,482,987株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	18,907,753株	2025年3月期 3Q	18,892,814株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

（参考）種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種種類株式 2025年3月期	円 錢 —	円 錢 4.78	円 錢 —	円 錢 4.78	円 錢 9.56
2026年3月期	—	4.78	—	—	—
2026年3月期(予想)				4.78	9.56

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）においては、売上高は、スポーツクラブ事業の4月、5月の新規入会が低調なスタートとなったものの、6月以降は7か月連続で前年を上回り、在籍会員数が前年を上回って推移しました。ホームフィットネス事業においては、新商品の「スタイリーフェイス」が好評となった一方、昨年好調な売れ行きであったステッパーの販売が伸び悩んだこと等から計画を下回りました。介護・医療周辺事業及び地域・企業等の健康づくり事業は順調に推移しました。コスト面においては、当初計画外の株式会社楓の風の取得に伴う手数料等約90百万円が発生したものの、ホームフィットネス事業の原価が下回ったほか、全社的な水光熱費の抑制や効率的な費用の執行に努め、計画を下回って推移しました。

この結果、売上高481億87百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益8億90百万円（前年同期比46.0%減）、経常利益3億15百万円（前年同期比72.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億23百万円（前年同期比26.8%減）となりました。

当社グループは新たな成長に向け、4月1日付で社長を交代するとともに、株式会社スポーツオアシス（以下、「オアシス」といいます。）と合併しました。また、介護・医療周辺事業における今後の介護保険制度の改定等を見据え、当社がこれまでアプローチできていなかった方々の健康課題解決のサポートを目指し、12月1日付で全国に通所介護施設を直営13施設、フランチャイズ23施設展開する株式会社楓の風の株式を100%取得し、子会社化しました。さらに、今後の事業拡大に向け、2026年4月1日付で株式会社レーベンコミュニティが運営する通所介護施設「マイリハ」5施設、2026年7月1日付で東急スポーツシステム株式会社が運営する総合型スポーツクラブ等8施設の事業譲受を決議いたしました。

当社グループは、「生きがい創造企業」という企業理念のもと、「人生100年時代を豊かにする健康のソリューションカンパニー」を長期ビジョンに掲げ、すべてのライフステージにおいて、人々が心身ともに「健康」で「生きがい」を持って豊かに過ごせることを目指し、事業活動に取り組んでおります。また、2024年5月に「2024-2027中期経営計画」を策定し、①総合型スポーツクラブのリーディングカンパニーとして業界をリードすること及び②フィットネス業界の枠を超えた中長期成長ドライバーの創出を重要テーマに位置づけております。

<スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業では、都心立地が多いオアシスの店舗網を活かし、法人契約を結ぶ企業・健康保険組合向けマンスリーコーポレート会員の販促を強化したことに加え、既存店舗への計画的なリニューアルを実施した結果、新規入会が好調に推移しました。また、7月より導入開始した新たなスタジオプログラム「Essential Pilates（エッセンシャルピラティス）」が好評となったほか、スイミングスクールにおいて、コーチの指導力や安全管理等が評価され、オリコン株式会社（本社：東京都港区）が発表した「2026年 オリコン顧客満足度調査 キッズスイミングスクール 小学生」部門において、前年に引き続き総合第1位に選ばれました。なお、上昇する各種コストへの対応とサービス品質の向上に向け、10月に全社的な価格改定を実施しております。

新規出店については、4月に「スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンス 東札幌24（北海道札幌市）」、7月に「スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンス・ビエラ明舞24（兵庫県神戸市）」を、いずれも他社が運営していたスポーツクラブの施設を引き継ぎ開業しました。この結果、スポーツクラブ事業の売上高は412億78百万円（前年同期比2.7%増）、当第3四半期連結会計期間末の在籍会員数は450,126名（前年同期比2.0%増）※となりました。

さらに、今後のスポーツクラブ事業の成長に向け、東急株式会社の100%子会社である東急スポーツシステム株式会社が運営する総合スポーツクラブ5施設、小型業態2施設、並びにスイミングスクール1施設を2026年7月1日付で譲り受けることを決定しました。東急グループが培ってきた駅近等の優良立地施設を譲り受けることで、東急沿線地域の皆様の健康づくり及び地域活性化を目指してまいります。

※当連結会計年度より、オンライン会員数を含めず、ルネサンスベトナムのスポーツクラブ在籍会員数を含めた数値にて記載しております。

<地域・自治体向けの健康づくり事業 (BtoG領域) >

スポーツクラブ運営のノウハウを活かした地域・自治体向けの健康づくり事業では、熊本県菊陽町、神奈川県横須賀市教育委員会及び一般社団法人生涯健康社会推進機構、岡山県倉敷市、奈良県奈良市、広島県東広島市、大阪府、福岡県糟屋郡須恵町と地域住民の健康増進や児童生徒の体力向上、防災等に関する協定を結び、自治体との連携を通じた健康づくり支援を拡大しました。また、スポーツクラブ事業とBtoG領域の事業間連携が進んだことにより地域の介護予防教室及び学校の水泳授業等の受託が拡大し、特に学校の水泳授業は社会的なニーズの高まりを受けて、受託数が前年同期比55.2%増となりました。

公共施設等官民連携事業 (PPP) においては、4月から7月にかけて9つの施設の管理運営を開始したほか、現在指定管理を担う施設の2026年度以降の継続に向けた公募や新たなPPPへの参画に向け、周辺自治体との関係づくりを強化しました。

<企業・健康保険組合向けの健康づくり事業 (BtoB領域) >

企業・健康保険組合向けの健康づくり事業では、オンラインレッスンサービス「RENAISSANCE Online Livestream」を住友生命保険相互会社のVitality会員等企業の有する顧客に向けて提供するとともに、企業のニーズに合わせたオンラインレッスンのカスタマイズ販売を促進しました。また、主に従業員の健康づくりに取り組む中小企業に向けて、全国の当社のスポーツクラブを手軽に体験できる「法人向け短期利用チケット」を販売し、健康経営のサポートを実施しました。

<介護・医療周辺事業>

介護・医療周辺事業では、リハビリ特化型デイサービス「元氣ジム」において、直営4施設、フランチャイズ2施設の計6施設を新規開設しました。また、介護施設を運営する事業所等に向けたオンライン体操教室の実施等、BtoB領域のソリューション提案に取り組んだほか、がん等の病と共に生きる方々の治療前・中・後におけるQOLの維持・向上を支援する取組において、医療法人社団 洛和会（所在地：京都市山科区）と「がん患者などのポストリハビリに関する協定」を締結しました。

なお、当社は介護・医療周辺事業の今後の成長戦略においてM&Aも視野に検討を進めるなかで、この度、全国で通所介護施設を営む株式会社楓の風の株式を12月1日付で100%取得し、子会社化しました。同社は通所介護施設を直営で13施設、フランチャイズで23施設展開し、比較的介護度の高いご利用者の支援も行っており、今後これまで当社がアプローチできていなかつた方々の健康課題解決のサポートが実現可能になると考えております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における介護・医療周辺事業の売上高は17億14百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

<ホームフィットネス事業>

ホームフィットネス事業では、9月に発売した顔回りのたるみケアと飲み込む力（嚥下）の両面をサポートする新商品「スタイリーフェイス」がTV通販及びECサイトともに好調となったものの、前連結会計年度に想定を超える売れ行きとなったステッパー及び振動系リカバリー商品のTV通販商品が一部伸び悩み、この結果、当第3四半期連結累計期間におけるホームフィットネス事業の売上高は28億18百万円（前年同期比21.8%減）となりました。なお、今後の新商品発売に向けた事業体制の強化を進めております。

当第3四半期連結累計期間の新規出退店（業務受託、指定管理を含む）は以下のとおりです。

出店・開設時期	施設名	施設形態
2025年4月	スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンス 東札幌24（北海道札幌市）	スポーツクラブ
2025年4月	東大和市体育施設等（全6施設）（東京都東大和市）	指定管理
2025年4月	北九州市立浅生スポーツセンター（福岡県北九州市）	指定管理
2025年4月	名護市B&G海洋センタープール（沖縄県名護市）	指定管理
2025年5月	ルネサンス 元氣ジム東久留米（東京都東久留米市）	介護リハビリ（直営）
2025年6月	ルネサンス 元氣ジム目白台（東京都文京区）	介護リハビリ（直営）
2025年6月	ルネサンス 元氣ジム広島宇品（広島県広島市）	介護リハビリ（フランチャイズ）
2025年7月	スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンス・ビエラ明舞24（兵庫県神戸市）	スポーツクラブ
2025年7月	府中市B&G海洋センター（広島県府中市）	指定管理
2025年8月	ルネサンス 元氣ジム川崎八丁畷（神奈川県川崎市）	介護リハビリ（直営）
2025年9月	ルネサンス 元氣ジムいわき小名浜（福島県いわき市）	介護リハビリ（フランチャイズ）
2025年11月	ルネサンス 元氣ジム青葉台（神奈川県横浜市）	介護リハビリ（直営）
退店・受託終了時期	施設名	施設形態
2025年5月末	BEACHTOWN HIBIYA PARK（東京都千代田区）	アウトドアフィットネス（直営）
2025年6月末	Re PT GYM RENAISSANCE JAPAN Times City（ベトナム ハノイ市）	パーソナルトレーニングジム（ルネサンスベトナム）
2025年12月末	ルネサンス 元氣ジムJr.三ツ境（神奈川県横浜市）	介護リハビリ（直営）
2025年12月末	フィットネス&ヨガ ルネサンス イオンモール ビンズオンキャナリー（ベトナム ビンズオン省）	スポーツクラブ（ルネサンスベトナム）

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の当社グループの施設数は、スポーツクラブ234施設（ルネサンス：直営142施設、業務受託86施設、運営支援4施設、RENAISSANCE VIETNAM, INC.：直営2施設）、小型業態2施設、介護リハビリ88施設（直営53施設、フランチャイズ35施設）、アウトドアフィットネス9施設（直営3施設、業務受託6施設）の計333施設となりました。

また、第4四半期連結会計期間以降は、以下の新規出退店（業務受託、指定管理を含む）を予定しております。

出店・開設時期	施設名	施設形態
2026年4月	福岡市立東市民プール（福岡県福岡市）	指定管理
2026年4月	福岡市立中央市民プール（福岡県福岡市）	指定管理
2026年4月	三豊市総合体育館（香川県三豊市）	指定管理
2026年4月	三豊市緑ヶ丘サッカー場（香川県三豊市）	指定管理
退店・受託終了時期	施設名	施設形態
2026年2月末	スポーツクラブ&サウナスパ ルネサンス 天王町（神奈川県横浜市）	スポーツクラブ
2026年3月末	OASIS RAFFEL 恵比寿24Plus（東京都渋谷区）	スポーツクラブ
2026年3月末	アウトドアフィットネス泉南ロングパーク（大阪府泉南市）	アウトドアフィットネス（業務受託）

なお、前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間の数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

当社グループの報告セグメントは「スポーツクラブ運営事業」のみであるため、セグメントごとの業績については記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ24億26百万円増加し、578億62百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したこと等により流動資産合計が10億18百万円増加したこと、及び建物及び構築物が増加したこと等により固定資産合計が14億15百万円増加したことによるものです。

当四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ21億90百万円増加し、455億7百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したこと等により流動負債合計が7億53百万円増加したこと、及び長期借入金が増加したこと等により固定負債が14億36百万円増加したことによるものです。

当四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億35百万円増加し、123億54百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益5億23百万円を計上したこと、配当金2億65百万円を支払ったこと等により利益剰余金が2億57百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、スポーツクラブ事業の在籍会員数が第4四半期も前年を上回り堅調に推移する見通しであることや、オアシスとのPMI（合併後の業務統合）に係る費用等のコスト抑制に努め、2025年11月7日に公表いたしました前回予想から変更はございません。今後、通期連結業績予想の修正が生じる場合は、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	7,680,354	8,371,337
売掛金	2,379,089	2,018,096
商品	803,643	825,758
その他	1,740,989	2,405,638
貸倒引当金	△12,918	△11,480
流动資産合計	12,591,159	13,609,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,091,727	10,066,631
リース資産（純額）	13,070,369	12,287,851
その他（純額）	3,325,267	3,857,461
有形固定資産合計	25,487,364	26,211,943
無形固定資産		
のれん	883,132	1,555,739
顧客関連資産	592,285	518,250
その他	487,711	504,455
無形固定資産合計	1,963,129	2,578,445
投資その他の資産		
投資有価証券	42,198	51,703
敷金及び保証金	12,317,705	12,162,182
繰延税金資産	1,973,577	2,356,897
その他	1,051,345	889,280
投資その他の資産合計	15,384,826	15,460,063
固定資産合計	42,835,321	44,250,452
繰延資産	9,114	2,400
資産合計	55,435,594	57,862,203
負債の部		
流动負債		
買掛金	133,128	84,042
短期借入金	4,200,000	6,103,300
1年内返済予定の長期借入金	2,220,584	2,320,302
未払法人税等	502,376	71,577
賞与引当金	1,131,581	634,190
店舗閉鎖損失引当金	—	71,962
資産除去債務	—	429,112
その他	7,398,342	6,625,516
流动負債合計	15,586,013	16,340,004
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,499,988	1,499,988
長期借入金	5,318,053	6,907,427
リース債務	14,781,738	14,074,916
退職給付に係る負債	1,248,756	1,308,222
資産除去債務	2,407,034	2,470,131
その他	2,475,510	2,907,275
固定負債合計	27,731,080	29,167,960
負債合計	43,317,093	45,507,964

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,210,356	3,210,356
資本剰余金	5,813,447	5,780,280
利益剰余金	5,688,784	5,946,197
自己株式	△2,506,960	△2,486,838
株主資本合計	12,205,628	12,449,995
その他他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,256	17,382
為替換算調整勘定	△183,224	△193,057
退職給付に係る調整累計額	70,167	68,244
その他他の包括利益累計額合計	△98,800	△107,430
新株予約権	11,673	11,673
純資産合計	12,118,500	12,354,238
負債純資産合計	55,435,594	57,862,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位:千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	47,572,388	48,187,121
売上原価	43,204,491	44,469,513
売上総利益	4,367,897	3,717,608
販売費及び一般管理費	2,720,236	2,827,107
営業利益	1,647,661	890,501
営業外収益		
受取利息	6,432	12,312
為替差益	11,480	4,745
助成金収入	1,384	19,510
受取補償金	12,327	—
その他	49,952	39,906
営業外収益合計	81,576	76,474
営業外費用		
支払利息	557,793	623,470
その他	17,228	27,765
営業外費用合計	575,021	651,236
経常利益	1,154,216	315,739
特別利益		
固定資産売却益	28	973
受取補償金	—	500,000
特別利益合計	28	500,973
特別損失		
固定資産除却損	25,212	14,162
減損損失	—	414,532
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	71,962
その他	1,074	12,161
特別損失合計	26,287	512,820
税金等調整前四半期純利益	1,127,958	303,893
法人税、住民税及び事業税	416,275	164,567
法人税等調整額	△2,937	△383,815
法人税等合計	413,337	△219,247
四半期純利益	714,620	523,140
親会社株主に帰属する四半期純利益	714,620	523,140

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	714,620	523,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,658	3,126
為替換算調整勘定	△12,994	△9,833
退職給付に係る調整額	6,008	△1,923
その他の包括利益合計	△3,328	△8,630
四半期包括利益	711,291	514,510
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	711,291	514,510
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

当社における商品の評価方法は、従来、主として売価還元法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づき簿価を切下げる方法）を採用しておりましたが、第1四半期会計期間より主として月次総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づき簿価を切下げる方法）に変更しております。

当該変更は、2025年4月1日に当社の連結子会社であった株式会社スポーツオアシスを吸収合併したことを契機に、原価管理方法の統一とより精緻な期間損益計算を実現することを目的として、棚卸資産の評価に用いるシステム改修を行ったことに伴うものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

また、前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,315,442千円	2,530,286千円
のれんの償却額	63,199千円	63,199千円

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2025年11月27日開催の取締役会において、株式会社楓の風の全株式を取得し、子会社化することについて決議し、2025年12月1日付で当該株式を取得いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社楓の風

事業の内容 通所介護、通所介護FC、教育事業（通所介護・高齢者ケアの研修・指導）

② 企業結合を行った主な理由

通所介護ご利用者やそのご家族のみなさまへのさらなる付加価値提供につなげられること、さらにはこれまで当社がアプローチできていなかったより多くの方々の健康課題の解決のサポートが実現可能になると判断したため。

③ 企業結合日

2025年12月1日（株式取得日）

2025年12月31日（みなし取得日）

④ 企業結合の法的形式
現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称
変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率
100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠
当社が現金を対価として、株式を取得したためであります。

(2) 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

当第3四半期連結会計期間においては2025年12月31日をみなし取得日としており、貸借対照表のみを連結しているため、当第3四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含めておりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得価額につきましては、先方からの要請をふまえ非開示とさせていただきます。

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザリー等に対する報酬 87,410千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれんの金額

735,807千円

なお、上記の金額は、企業結合日以後、決算日までの期間が短く、企業結合日時点の識別可能資産及び負債の特定及び時価の見積りが未了であるため、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に算定された金額であります。

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

③ 債却方法及び償却期間

のれんの効果の発現する期間を合理的に見積り、当該期間にわたり均等償却する予定であります。なお、償却期間については精査中であります。